



新年号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨 衛
印刷所
(有)堀口印刷
1部 15円
(購読料は負担金に含まれています)



年頭に寄せて

公益財団法人茨城県消防協会

会長 葉梨 衛

令和二年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んでご祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことに、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足し、先人の皆様方の並々ならぬご尽力により、組織・設備の両面において着々と充実強化されており、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予

防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、さまざまな場面で地域住民の安全・安心確保に大きな役割を果たしているところでございます。

さて、昨年は新元号になったばかりの五月十五日に常総市の廃材置場で火災が発生し、鎮静化するまでに二十四時間体制の消火活動が県内各消防本部の応援により連日行われ、消防応援体制の重要性を改めて認識いたしました。

そして、相次いで上陸した台風十五号・十九号により、尊い命が犠牲になったほか住家屋被害も全壊や半壊そして床上・床下浸水など、本県を含め全国各地で甚大な被害が発生し、復旧作業が続いております。

このように、いつ発生するか予測のつかない災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、その

ためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、住民や企業・団体などが一層連携し、地域の総力を結集して地域防災力の充実強化を目指す必要があると考えております。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の『安全・安心の確保』のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

なお、消防団員が減少を続けている中で、地域防災力の要である消防団員の確保のため、大規模災害団員制度及び機能別消防団員制度の導入や消防団協力事業所表示制度の活用に加え、消防団員応援の店の取り組みなど各消防団長さんをは

じめ関係者の皆様にご協力いただいており、特に昨年は、「第二十四回全国女性消防操法大会」に常総市女性消防隊の隊員として、県立石下紫峰高校の生徒さん二名が出場し、その若さ溢れる操法は、これからの時代を担う新たな力が育っているということを確信することができ、大変心強く感じた所です。

改めまして皆様方のご尽力に厚くお礼申し上げます。「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和初の国体「いきいき茨城ゆめ国体」で、四十五年ぶりに天皇杯・皇后杯を獲得するなど明るい話題がある一方、相次いで発生した大型台風により、本県は甚大な被害を受けました。

被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災者の皆

様が一日でも早く心安らぐ生活を取り戻せますよう、引き続き、全力で復旧・復興に取り組んでまいります。

さて、人口減少や少子高齢化、デジタル経済の進展などにより、社会情勢が急速に変化する中、私はこれまで、茨城も変わらなければ未来に希望はないとの危機意識を持ち、「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難な政策課題にも臆せず取り組んでまいりました。

例えば、質の高い雇用の創出に向けた

戦略的な企業誘致では、成長分野の本社機能等の誘致を数多く実現し、喫緊の課題である医師確保についても、明確な目標を掲げ推し進めることで、取り組みが結果に結びついてきております。

また、国内外からの誘客促進に向けて茨城空港や港湾の利用拡大に取り組み、新たな国際線の定期便や連続チャーター便の開設、外国クルーズ客船の新規就航など、夢・希望に繋がる成果もあがってきております。

さらに、将来の茨城を支える人材を育成するため、中高一貫教育校の設置を推進するとともに、儲かる農業の実現に向け、農産物等の茨城ブランドの確立、輸出拡大にも力を入れているところで。

一方で、まだ実績をあげるに至らない課題も残っております。このため、本年は、これまで打ち出してきた政策を、よりスピード感を持って推し進めていくとともに、絶えず効果検証を行い、軌道修正が必要とあらば、躊躇せずに見直しや追加の対策を実施し、新たな課題に対しても積極的に対応してまいります。

今年はいよいよ東京オリンピックのサッカー競技が本県で開催されます。これを契機に、茨城の魅力を世界に発信するとともに、引き続き一人でも多くの皆様には、「茨城県、ワクワクするよね」と感じていただけるような「活力があり県民が日本一幸せな県づくり」に挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

令和二年 消防出初式

新春を飾る消防出初式が一月五日(日)から十三日(月)までの土・日・祝日の四日間に県内各地で挙行されました。式典において永年のご功績が認められ表彰を受けられました皆様方に心からお祝い申し上げます。

また、事前準備や当日寒い中対応されました関係者の皆様方、大変お疲れ様でした。

一月五日(日)に笠間市赤坂の大池公園で挙行されました笠間市消防出初式の様子を写真にて紹介します。

当日は晴天に恵まれ、式典には大井川知事、葉梨会長のほか多数の来賓の方々と消防関係者ら約七百名が参加し、式典終了後には、和太鼓の演奏や腕用ポンプ放水、消防車両からの一斉放水が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、はしご車搭乗体験コーナー、応急手当体験コーナー、煙体験コーナーや消防車両の展示なども行われ、大勢の家族連れが訪れていました。大正時代に制作された腕用ポンプ放水には、大井川知事も参加し、筒先を持ち見事に提灯の的を落し、見学者から盛大な拍手が送られました。



消防団点検



和太鼓演奏(友部囃子仲南会)



一斉放水



腕用ポンプ放水(大井川知事)



表彰式

令和元年度 支部別消防団長等 懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南支部、年明け一月から残る五支部で順次開催されます。出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

開催日程

- 県南支部 五市
令和元年十二月二十三日
つくば市消防本部
- 県北支部 九市町村
令和二年一月十七日
常陸大宮市消防本部
- 県南支部 九市町村
令和二年一月二十四日
龍ヶ崎市役所
- 県西支部 十市町
令和二年二月六日
大和ふれあいセンター
- 鹿行支部 五市
令和二年二月二十日
行方市役所北浦庁舎
- 県央支部 六市町
令和二年二月二十一日
コミュニケーションセンター城里

議題

- (一) 地域防災力の充実強化について
- (二) 令和二年度消防学校教育訓練(案)の概要について
- (三) 令和二年度消防団長研修会について
- (四) 令和二年度消防ポンプ操法競技大会の日程について
- (五) 令和二年度理事研修会について
- (六) 日本消防協会の火災共済及び個人年金等について



県南支部での葉梨会長あいさつ
左から宗像課長・葉梨会長・堀越支部長・瀬谷副校長

懇談会は、消防安全課から議題(一)「地域防災力の充実強化について」、県立消防学校から(二)「令和二年度消防学校の教育訓練計画(案)」、消防協会から、(三)「令和二年度消防団長研修会」から(六)「日本消防協会の火災共済及び個人年金等」についての説明がありました。いずれの会場でも、限られた時間の中で有意義な情報交換となりました。

日本消防協会主催 消防団幹部 特別研修

日本消防協会主催による第四十六回消防団幹部特別研修が実施され、本県からは城里町消防団の森田宏二副団長が参加されました。

ここに、森田副団長からの寄稿文をご紹介します。

第四十六回消防団幹部 特別研修に参加して



城里町消防団
副団長 森田 宏二

私は一月二十一日(火)から二十四日(金)までの四日間、日本消防会館において、第四十六回消防団幹部特別研修に参加しました。

参加にあたって、開催していただいた日本消防協会の皆様、研修に参加し共に研鑽を深め合った全国の各消防団幹部団

員の皆様、貴重な研修に推薦していただいた茨城県消防協会及び県央支部の皆様にごの場を借りて御礼申し上げます。

開講式では、日本消防協会の秋本敏文会長、総務省消防庁の林崎理長官からご挨拶があり、研修宣誓を研修生総代の滋賀県大津市消防団八代消防団長が行い、身の引き締まる空気の中、研修が始まりました。

座学では、惨事ストレス対策・危機管理・気象・地震災害・消防庁における消防行政の推進・消防団を中核とした地域防災力の充実強化・火災防ぎよについて勉強させていただきました。どの講習も日本有数の有識者の先生から過去の事例を踏まえて、わかりやすく教えていただきました。

課題討論では「大規模災害時における現場活動の問題点と団員の安全確保」について班内で討論しました。火災時と違い、災害時は活動の線引きが曖昧だと感じることも多く、そのような中、大災害に立ち向かうには、常備消防、市町村、地域の自主防災会、女性消防、その他たくさんの方々や住民と背中を預け合い、活動する必要があります。そのためマニュアルや訓練の必要性について、様々な観点から話し合いました。

視察では東京消防庁江東航空センター、消防庁危機管理センターを見学しました。最新の機器やドローン活用など、現代科学の進歩と、多種多様な災害に対応する消防行政の進化を大いに感じました。

城里町は台風十九号により大きな被害を受けました。消防団も出動しましたが、様々な問題が町内各所で発生し、「人を動かす」ことの難しさを身をもって体験いたしました。

幹部団員はどのような災害においても、団員の安全を守り、現場を指揮し、被害を最小限に防ぐために決断する使命があります。経験・技術・知識に加え、地域の特性を把握し、幹部として、発言に強い信念を持つことが大切だと学びました。今回の有意義な体験を自分の中だけに留め置かず、多くの団員に還元し、茨城県の消防力向上に努めていきたいと思えます。

日本消防協会
交付車両伝達式

日本消防協会から交付された車両の伝達式が令和元年十二月十八日(水)に「つくばみらい市役所」において行われました。

日本消防協会が行っている「消防団員等福祉共済の福祉増進事業及び防火防災訓練災害補償等共済の還元事業並びに全日本消防人共済会の教育広報事業」の一環として交付されたものです。

- 交付団体
つくばみらい市消防団
- 交付車両
スバルフォレスター
4WD・AT車

伝達式は、渡邊副市長立会いの下に葉梨会長から豊島団長、山田副団長へ車両のレプリカキーによる贈呈が行われ、会長あいさつ、豊島団長謝辞、渡邊副市長の謝辞と続き、最後に記念撮影を行い終了しました。
寒い中早朝よりお集まりいただきありがとうございました。



左から葉梨会長、山田副団長、豊島団長



左から山田副団長、葉梨会長、豊島団長、渡邊副市長



令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰
県内十消防団受賞

令和元年の台風十九号に際し、水防活動に従事し被害の軽減に貢献した県内十消防団に対し、二月十日(月)に国土交通大臣表彰が行われました。受賞した団体は、次のとおりです。

- 常陸大宮市消防団
- 大子町消防団
- 常陸太田市消防団
- 城里町消防団
- 神栖市消防団
- 結城市消防団
- 水戸市消防団
- 大洗町消防団
- 境町消防団
- 那珂市消防団

※水防功労者国土交通大臣表彰とは、水防法第四十六条及び「水防功労者表彰規則」に基づき水防管理者の所轄の下に水防に従事し、当該水防に著しい功績のあった個人又は団体を表彰する制度です。

編集後記

令和最初のお正月、皆様健やかに迎えることができましたでしょうか。
令和二年もよろしく願います(一)

オリジナル Tシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

水戸スポーツ株式会社
水戸市袴塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店
有限会社 鈴機
〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic
自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型 消防ポンプ
充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社
水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360